



善乃色

全





春秋

友移し 水と花と

普

しりしり 花と 水と

と 着く 花の影

よまき 花の影

基の友と 花の影

友人

仙柳

國



○菅 山平 花も節きりり 花の風

○菅 花の風も 渡む花の風

○菅 花の風も 枝と思ふは

○菅 花の風も 枝の風も

○菅 花の風も 枝の風も

湖

二

二

一

角

○菅 日と 西平 花見の影

○菅 花見の影 花見の影

○菅 花見の影 花見の影

○菅 花見の影 花見の影

○菅 花見の影 花見の影

二

一

二

湖

山



春の海を舟とさうりし 花の山

晴しきと思ふ可きや 花の山

春秋執

花の山 花の山

言出

花の山 花の山

花の山 花の山

二

風多

二

二

二

春秋執

花の山 花の山

花の山 花の山

春秋執

花の山 花の山

花の山 花の山

言出

花の山 花の山

二

二

二

二

二



春秋執

輕暖と思ふを衣のくまうり可也

とちふとも云はれぬおの婦妹

陽子 たるまゆの思ふ可也

普也

の春の中色はむもの無吹り可也

春秋執

またのふしは春の洛子み路が

湖光

ち

音

二

如病

普也

ふちふちを思ふに花の伴なる可也

か鳥はあゝの月もも居る其の思

春秋執

色ふて明るやと花の海と山

春秋執

ふちふちを思ふに花の伴なる可也



普也

ふちふちを思ふに花の伴なる可也

まむ

二

女像

秋笑

梅葉



○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

山

花

影

流

志

○ 山花も雪 林蔭をさかのぼりて可なり

○ 雪うしと見し日と異なり花の影を待つ可なり

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

○ 花の影を待つ 向花の影ゆか

二

文

人

交

流

春秋賦

春秋賦

春秋賦

春秋賦

春秋賦



雲とあけしるともあけしる集の候  
七恨多ていむつり

雲とあけしるともあけしる集の候

山冷と川別きりー花と雲

さつり花をさるるあそむるや張扇

川もさつり中を流るーと網

二

淡知

紫

櫻

玉

菅

里ちりて柳も花のきりー可

今平降中さるる花くま

け花平春のいきりーあ

さるるのひ跡空平を伸花の山

さるるのひ跡空平を伸花の山

湖

仙

鳥

花

後



○<sup>菅</sup> くるる水鳥の浮む入江に

春秋

にさすのさす 流や花の下

○<sup>菅</sup> の志を中絶しや玉の体

○<sup>菅</sup> 思ふ際もなし

○<sup>菅</sup> 月何れも

雪水

二月

柳子

巳午

錢笑

○<sup>菅</sup> 枝し 若そちりあうと山

○<sup>菅</sup> の山斗下もなき 曇り

○<sup>菅</sup> 月や 舟の体もなきとあ

○<sup>菅</sup> 花咲き 春も曇るや 高松山

○<sup>菅</sup> 花も曇り 山も曇り 七多松の山

柳葉

一仙

郭路

玉水

三八



降まとも 降ふ虫の音のきこゆ山

黄くもや 花千土多し 山峯の陰

降れし 千見ても 花の口雲く

咲みちる 花のふしとく 花の山

花の山 花の山 花の山

二ノ

新橋

千歳

二ノ

山雲

月の山 花の山 花の山

花の山 花の山 花の山

花の山 花の山 花の山

花の山 花の山 花の山

花の山 花の山 花の山

二ノ

二ノ

山雲

二ノ

カ山

春秋

春秋

春秋



○ 花を又さう花千の物にさ

増成のちん子たさやのた

○ 山よりも花千 ねるれと澄より

○ ちるや縁とさあも 今二日

○ 深し場へ傾る 雲や花見空

○ 差り色や 指のそ花千 さるさ

○ 舞く人へ 如帯も 羽織やさの冷

○ 一分千 明り 山家や 花と雲

○ はとろめそそろろ千 花のうさ

○ 美晴をい花 一分千 明千り

二)

知是

一)

里松

寔夜

子園

学文

廿お

文所

其孫







昔のくくやうに暮るやと山

去水

あつてもすくねと何てと山

二

昔のくくやうに暮るやと山

百存

昔のくくやうに暮るやと山

喜木

昔のくくやうに暮るやと山

二

昔のくくやうに暮るやと山

永七  
梅仙

春秋賦  
昔のくくやうに暮るやと山

一  
雙

昔のくくやうに暮るやと山

春秋賦  
昔のくくやうに暮るやと山

二  
少御

春秋賦  
昔のくくやうに暮るやと山

二



権のし雲のほろりやま山

福止

ふ雲のし原のまもまると山

二ノ

案念のくひのさりやまのぼる

三ノ

まのりし雲のしほろりやま

四ノ

りたのしつれ雲のぼるまの丘

五ノ

入あけ、雲も 桐島平 ちる 橋

六ノ

雲のまも 知つたるし ちる 山

七ノ

口のまも 知つたるし ちる 山

八ノ

雲のまも 知つたるし ちる 山

九ノ

まのまも 知つたるし ちる 山

丘月

（音）

（音）

（音）



好<sup>音</sup>きく〜と節きふるや 風のよ

草書

折<sup>音</sup>こもちる 散れもちるやあま

水月

雨<sup>音</sup>よか〜くやあや 花子あま

菊山

秋<sup>音</sup>とむれ〜く〜く

月

美<sup>音</sup>みちて〜も自候

六

次<sup>音</sup>ゆれ〜言の

赤雲

音<sup>音</sup>抄の秋を隣

海

梅<sup>音</sup>えを〜来て合

心

梅<sup>音</sup>まを〜か

柳

音<sup>音</sup>か〜

蘭



川春秋執みゆ川はくもとあり

斗

如印くく其女学如の

詔所厚印杜撰

再考 十 点



五行鈴

來  
如  
見

正  
長  
行

船  
行  
水

如  
扇

五行鈴

氣  
來  
行  
了

如  
扇  
行  
水

如  
扇  
行  
水

如  
扇



五行鈴

少  
泉  
斗  
泉

斗  
泉  
斗  
泉

斗  
泉  
斗  
泉

五行鈴

斗  
泉  
斗  
泉

斗  
泉  
斗  
泉

斗  
泉  
斗  
泉

斗泉

斗泉



五行鈴

荷

葉

花

一

二

三

花

葉

花

葉

花

三



天二十点  
如  
海

← 同

斗  
象

地  
我  
笑



